

# Buyer's Guide W124

## 試乗車データ

'95年式E320(プリリアントシルバー)

車両本体価格:59万8000円

右ハンドル 走行64,000km 修復歴なし

車検なし最終モデル ディーラー車

フルオリジナル DVDナビ&TV 整備手帳・スペアキー完備

西ウジタオートサロン住吉店

TEXT & PHOTOGRAPHS BY  
SHOJIRO KUWANO

## USED CAR ROAD IMPRESSION

# 21世紀の今も色褪せぬ、20世紀のジャーマン・レジェンド

長きに渡り根強い人気に支えられたW124。バブル期に大量輸入されたその姿に、良き頃を思い出すロマンやノスタルジーも、今は寂しげだ。永遠の安全神話、コスト度外視で作られた最後のモデル…数々の逸話を持つ名モデルに、生産終了から16年を経た今、あえて鞭を打つ!



ユースドメルセデスアナリスト  
の野宮二朗  
微妙な肩書きだが、正体は中古車を60台乗り廻いだクルマ好きのモノ書きである。乗る・撮る・書くとマルチに行方141歳

最近めっきり街中で見かける機会が減ってしまった。初代EクラスごとW124。筆者も過去に4台ほど乗り継いだ。その後所有したR129やW201、W140にも通ずる'80・'90sメルセデスの濃厚な味わいは、忘れた頃にまた乗りたくなる。一種独特で特別なもの。だから、今回この試乗記事の依頼を受けるやいなや、喜びのあまり全国の中古車を探しまくった。がしかし、

残念なことに購入意欲を喚起させられるタマは非常に少ない。なにせ、絶対数が少ない。現状、国内には100台ほどが流通しているが、その半分は500EとE500。その他のレギュラーグレードのW124で程度良好車を探すのは、思いの外、骨の折れる作業になってしまった。

試乗車に選んだのは、最終モデルのE320。適度な走行距離と、ヘタにイジられていないフルオリジ

ナルだったのが選考理由である。インプレッションと称しても、販売店から街中、高速走行と走らせてみたが、率直な印象は「どっしり感は格別」である。何度乗っても、程度の優劣があろうとも、乗ればホッとする安心感と、最新モデルにないフレンドリーさ、デジタルなマシンでは味わえない、アナログな自動車らしさが走るごとに滲み出てくる。今では大衆車がカラローラから

プリウスに変わりそうな勢いだけど、そもそもクルマって…と目が覚めるような気分。

深く踏み込まないと進まない重いアクセル、踏んだだけ効くブレーキ、切れ味鋭いステアリングフィールなど、走るほどに体の一部のごとくリンクしてくる。なるほど、W124って、ジャンボークラウンとかダイアボロンみたいだなあ…(わかる人にはわかる…はず)。



## 今あえて W124を選ぶ定義とは？

台数が少なく既に賞味期限ギリギリ!!

単刀直入にいう。その答えは、まともに乗れる中古車の数が残りわずかだから。日本市場で評価が下がってしまった多走行車や、過去数年の間に中国、ロシア、パキスタンなどへ大量に輸出されてしまったのが原因で、悲しいかな日本における多走行車は、これら諸外国で「走行、少ナイデスネ」とウエルカムだったりする。さらにいうと、距離うんぬんで語れないのが中古

メルセデスの魅力。劣化部品を適切に交換・整備すれば、元来は20万kmでも30万kmでも平気で走るのに、日本人は距離だけで判断してしまった結果、左ハンドルの程度良好車を海外へ放出してしまったというワケ。そして今、右ハンドルの少走行（程度の善し悪しは別として）車ばかりが残された。20世紀メルセデスの本当の良さを味わいたいなら、早めに着手!



老若男女を問わず誰にでもわかりやすいメルセデスの王道かつ代名詞的スタイル。単なる豪華さとは違う上質感と使いやすさは時代を超えて、現在4代目Eクラスにまで受け継がれている

## 現行モデルと比べ、どこに魅力があるのか？

旧き良きを知り、目からウロコが存在

これはメルセデスというクルマにナニを求めるか？ によって異なる見解だと思うが、20世紀メルセデスのポリシーやコンセプトが、乗ることでビシバシ伝わってくるのは、W124が最後のモデルだということだろう。このサイズにこのパッケージングとバランス、過剰なまでの安全性能、現代のクルマ作りでは到底無理な熟成に熟成を重ねた設計、そして板金職人が修理を嫌がる分厚く硬い鋼板など、理由を探し始めると枚挙にいとまがない。騙されたかと思って、まず一度は乗ってみる機会を作ってほしい。最新

モデルの装備や性能が、本当に自分にとって、今の社会にとって必要なか？ と改めて考えさせられるかもしれない。最新モデルで麻痺した感覚から、「これで十分じゃないの?」という感覚に戻れたら、その時が買い、である。



## Buyer's Guide Q&A

### Q.1 現在のW124の中古車相場は？

<中古車相場>

■'90年式  
中古相場:18万円~60万円  
流通台数:約4台  
(300E 2台、300CE 1台、300TE 1台)

■'91年式  
中古相場:35万円~75万円  
流通台数:約5台  
(300E 2台、300TE 2台、300TE4マチック 1台)

■'92年式  
中古相場:25万円~199万円  
流通台数:約6台  
(230TE 1台、300E 1台、300TE 1台、400E 1台、500E 2台)

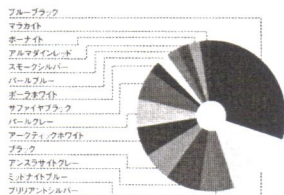
■'93年式  
中古相場:25万円~198万円  
流通台数:約15台  
(E220 2台、E280 1台、E320 6台、E320カブリオレ 1台、E320クーペ 1台、E320コン 1台、E500 3台)

■'94年式  
中古相場:28万円~468万円  
流通台数:50台 (E220 2台、E220コン 3台、E280 5台、E280コン 3台、E320 14台、E320カブリオレ 1台、E320クーペ 1台、E320コン 7台、E400 2台、E500 12台)

■'95年式  
中古相場:28万円~170万円  
流通台数:15台 (E220コン 2台、E280コン 4台、E320カブリオレ 1台、E320コン 8台) ※2010年4月編年報調べ。

<流通ボディカラー一覧>

ブルーブラック24%、プリリアントシルバー12%、ミッドナイトブルー6%、アンズライトグレー6%、ブラック5%、アークティックホワイト5%、パールブルー5%、サファイヤブラック5%、ボラホワイト2%、パールブルー2%、スモークシルバー2%、アルマダインレッド2%、ボナート2%、マラカイト2% 等



現在の中古車試乗は左ハンドル車が激減しており、ポリウムゾーンは'93~'95年式、E320・右ハンドル・プリリアントシルバーが人気車となる。5年前まで散見されたワゴンも輸出により減っている模様。相場は年式等に関係なく、程度によってピンキリとなる

### Q.2 中古車探して注意すべき点とは？

特に注意点というのではなく、一般的な中古車購入時と同様、エンジンの異音&振動、オイル漏れ、室内の程度、試乗した感覚、整備履歴を参考にできるだけ多く乗り比べて選ぶのが得策。あえて挙げると、エアコンは壊れると高額なので、作動確認をきっちり

### Q.3 今狙い目のW124ってどのモデル？

まず注目されるのが500EとE500だが、W124の中ではあまりに特別な存在ゆえ、購入後のコストは他モデルと比べると格段の差が。購入価格と維持費のバランスを考えると後期のE320かE280。また希少なクーペやカブリオレも最近では価格に大差がないので◎

### Q.4 購入したら一年間の維持費はいくら？

部品供給は安定しているし、リビルトパーツも豊富。最近のモデルに比べてテスター診断箇所も少なく、意外と維持はしやすい。どこまでメンテするかによってコストは変わるので一概にいえませんが、消耗品や油脂類以外に年間10万円もあれば良い状態をキープできるはず

#### SHOP VOICE

創業60周年を迎えた老舗輸入車販売店、ウジタオートサロン。元々整備工場からスタートしただけに徹底した自社整備にこだわり、歴代数々のメルセデスをメンテしてきた実績とデータが豊富。長年の顧客から託されたお宝クルマも多数在庫し、あらゆるニーズに対応

**協力SHOPはコチラ!**  
ウジタオートサロン 住吉店  
大阪市住吉区万代東4-4-16  
☎06-6606-0700  
http://ujita.co.jp/  
植田氏のオススメは、壊れにくく味わい深い、そして燃費が良い前中期の300Eと前期の260E。いずれも年式や距離により、程度と履歴が重要

